

ネイティブ・ビブリオ・コレラエ・ニューラミニダーゼ

Cat. No. NATE-0481

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ノイラミニダーゼ酵素は、ノイラミン酸のグリコシド結合を切断するグリコシド加水分解酵素 (EC 3.2.1.18) です。ノイラミニダーゼ酵素は多くの生物に見られる大きなファミリーです。最もよく知られているノイラミニダーゼはウイルス性ノイラミニダーゼで、インフルエンザ感染の阻害を防ぐための標的ターゲットです。ウイルス性ノイラミニダーゼは、インフルエンザウイルスの表面に見られる抗原決定因子として頻繁に使用されます。インフルエンザノイラミニダーゼのいくつかの異体は、ウイルスに他のものよりも高い病原性を与えます。他のホモログは哺乳類細胞に見られ、さまざまな機能を持っています。少なくとも4つの哺乳類シアリダーゼホモログがヒトゲノムで記述されています (NEU1、NEU2、NEU3、NEU4を参照)。

用途 神糖酸化酵素は、糖複合体の分布を調べるための細胞表面プローブとして、また基質特異性研究に使用されます。コレラ菌由来の神糖酸化酵素は、感受性のある細胞によるコレラ毒素の結合と取り込みにおけるその役割を評価する研究に使用されました。また、ナトリウム基質の調製と神糖酸化酵素の蛍光測定アッセイでの使用を調べる研究にも使用されました。

別名 神糖細胞アミダーゼ; シアリダーゼ; α -神糖細胞アミダーゼ; アセチル神糖細胞アミダーゼ; エキソ- α -シアリダーゼ; EC 3.2.1.18; 9001-67-6

製品情報

由来 コレラ菌

形態 タイプI、緩衝水溶液; 水溶液、pH 5.5、0.15 M NaClおよび4 mM CaCl₂を含む; タイプII、緩衝水溶液、50 mM酢酸ナトリウム中の溶液、pH 5.5、0.15 M塩化ナトリウムおよび4 mM塩化カルシウムを含む; タイプIII、滅菌フィルター処理済み、水溶液、pH 5.5、0.15 M NaClおよび4 mM CaCl₂。

EC番号 EC 3.2.1.18

CAS登録番号 9001-67-6

活性 タイプI、1-5単位/mgタンパク質 (Lowry、NAN-ラクトース使用); タイプII、8-24単位/mgタンパク質 (Lowry、NAN-ラクトース使用); タイプIII、> 1.5単位/mgタンパク質。

代謝経路 他のグリカン分解、特定の生物系 (KEGGから) 他のグリカン分解、保存された生物系 (KEGGから) コレラ菌感染、特定の生物系 (KEGGから) コレラ菌感染、保存された生物系 (KEGGから)

単位定義 1ユニットは、特に指定がない限り、37°CでpH 5.0の条件下でNAN-ラクトースまたは牛下顎粘液を使用して、1分あたり1.0 μ モルのN-アセチルノイラミン酸を放出します。価格は、基質としてNAN-ラクトースを使用したユニットに基づいています。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C